

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成28年10月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

「第18回 IFHIMA 国際大会」参加への勧め

大井 利夫

第18回 IFHIMA 国際大会 大会長
上都賀総合病院 名誉院長

診療情報管理に携わる実務者の国際組織、IFHIMA (International Federation of Health Information Management Associations = 診療情報管理協会国際連盟) の第18回国際大会が、本年10月11日(火)~10月14日(金)に東京都有楽町の東京国際フォーラムにて開催されます。

通教月報「診療情報管理研究」に、第18回 IFHIMA 国際大会に関する原稿を依頼され執筆しているのが8月下旬。10月号に掲載予定と聞いていますので、受講生の皆さんが目にするときは既に国際大会開催中かもしれません。しかし、9月号に第42回日本診療情報管理学会学術大会について学術大会長の木村壯介先生が執筆され、その中で第18回 IFHIMA 国際大会と同時に開催されることが紹介されていると聞いていますので、ご存知の方が多くかもしれません。

IFHIMAは1968年に設立され、3年ごとに国際大会を開催しています。日本での開催は初めてで、アジアでは韓国での15回大会(2007年)に次いで2回目です。今回は、ICD-11の改訂が目前に迫り、ICDに深く関与するWHO-FIC年次会議、WHO ICD-11リビジョンカンファレンスと第42回日本診療情報管理学会学術大会、第18回 IFHIMA 国際大会が同時期に、同一会場で開催される画期的な大会になりました。10月12日の合同開会式には、WHO事務局長マーガレット・チャン氏のご出席も予定されています。

第18回 IFHIMA 国際大会のメインテーマは「新時代の診療情報の活用と普及に向けて」です。テーマに沿って、各種会議や特別講演、一般演題・ポスター発表ほかにシンポジウムとして発展途上国を主とする「死因統計サミット」と「国際シンポジウム」が企画されています。演題数は総計151題、そのうち死因統計サミットは18題、国際シンポジウムは6題。日本を除く参加登録者は43か国、187名に及びます。日本では第42回日本診療情報管理学会学術大会参加者にも聴講に便宜を図っていますので、ぜひ国際大会の雰囲気にも触れてほしいと願っています。

情報の国際化が進み、診療情報管理に携わる人は世界中に広がり、増大してきました。診療情報は、患者さんの「いのちの記録」として医療の質の担保に繋がっています。さらに情報をデータベース化し活用することで医療の質の向上にも繋がっているのです。診療情報の国際化・グローバル化は、医療の新しい時代の幕開けを予感させます。そのために、世界中で活躍している仲間が集まり、新時代の診療情報に関する課題を話し合う国際大会に、日本で診療情報管理士を目指す皆さんのできるだけ多くの参加と強い関心を期待しています。

